

平成25年9月18日

那須烏山市議会議長 佐藤 雄次郎 様

文教福祉常任委員会委員長 板橋 邦夫

決算審査結果報告書

本委員会に平成25年9月9日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

記

- 1 審査期日 平成25年9月10日（火）及び11日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第2委員会室
- 3 出席委員 板橋邦夫、田島信二、滝田志孝、高田悦男、中山五男、樋山隆四郎
- 4 説明のための出席者
市民課長 大野治樹、福祉事務所長兼健康福祉課長 小口久男、こども課長 青木敏、学校教育課長 網野栄、生涯学習課長 堀江功一、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課の平成24年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

学校教育課

- ・荒川中学校と下江川中学校の統合は、教育の機会均等、適正な学校規模の観点からやむを得ないものと判断するが、その時期について市民の理解を得ているとは言いがたい状況である。地域住民の声を聞き、丁寧に進められたい。また、統合後の下江川中学校校舎を江川小学校校舎として用いる件については、改修に多くの経費が費やされることが想定される。校舎に必要な設備や耐震性、改修にかかる経費等を精査の上、慎重に検討されたい。
- ・文武両道教育やABC/R運動など既に取り組みされているものもあるが、小中学校において、更に心の教育に力点を置いた事業の充実を図られたい。

生涯学習課

- ・結婚相談員には、長年にわたって地域の「仲人」としてご活躍いただいているが、その仕組みは今の社会情勢にそぐわなくなりつつある。加えて相談員のなり手の確保にも苦慮しているとのことである。時代に即した新たな結婚相談制度のあり方を検討されたい。
- ・遺跡調査及びこれに伴う周辺整備については、現行の計画での実施を最大限とし、かつ、可能であれば再考の機会を見つけ規模縮小を図られたい。また、歴史資料館整備に際しては、既存施設の活用を十分に検討されたい。

市民課

- ・熊田診療所において、医師の個性を活かした内容で地域住民との触れ合い事業

を実施したとのことである。これをきっかけに医師と地域との結びつきが強くなり、受診者が増えることとなることを期待する。地域との信頼関係は、地域医療の拠点たる診療所には欠かすことのできない重要な要素である。各診療所とも、日頃よりそれぞれに適した方法で地域との信頼関係の構築に腐心されたい。

こども課

- ・子どもたちの安心安全を鑑みると、こども館の老朽化、未耐震化は看過できない。整備について公共施設再編整備計画策定委員会等で検討しているとのことであるが、可及的速やかに判断されたい。
- ・発達障がい児又はその疑いのある子どもが増加傾向にあるとのことは、大変大きな問題であると考ええる。要因がはっきりしないとのことであり、市も苦慮していることとは思うが、万策を尽くして対応に当たられたい。

健康福祉課

- ・老朽化の著しいやすらぎ荘についてだが、その役割は他の施設の整備により十分代替できるものと思われる。現在、公共施設再編整備計画策定委員会において存廃の検討がされているとのことだが、廃止を前提とした議論をされたい。

